

NY マーケットレポート (2017年5月17日)

NY 市場では、主要な米国の経済指標の発表がなく新規材料に乏しい中、トランプ大統領が FBI 前長官に対して、辞任した前大統領補佐官の捜査中止を要請していたと報じられたことや、ロシア外相に機密情報を漏らしたとの報道が引き続き材料視され、ドルは軟調な動きとなった。また、米下院議員がトランプ大統領の弾劾を呼びかけるとの報道も加わり、政権運営への不安が一段と強まったとの見方から、ドルは一段の下落となった。そして、大型減税など経済政策の実現が遅れることへの警戒感も強まったことから、米主要株価も大きく下落する動きとなり、投資家のリスク回避の動きから円が買われる動きが続き、クロス円も軟調な動きとなった。特に、ドル/円は 110 円台まで下落し、4/25 以来の安値を付ける動きとなった。

2017年5月17日 (水)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	112.45	113.14	112.26
EUR/JPY	124.68	125.41	124.51
GBP/JPY	145.40	146.13	144.96
AUD/JPY	83.22	84.02	83.11
EUR/USD	1.1089	1.1122	1.1081

LONDON	高値	安値
USD/JPY	112.55	112.24
EUR/JPY	124.93	124.54
GBP/JPY	145.92	145.31
AUD/JPY	83.33	83.12
EUR/USD	1.1113	1.1085

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	110.99	112.36	110.90
EUR/JPY	123.86	124.87	123.71
GBP/JPY	143.92	145.65	143.75
AUD/JPY	82.49	83.23	82.36
NZD/JPY	77.03	77.43	76.79
EUR/USD	1.1160	1.1162	1.1102
AUD/USD	0.7432	0.7437	0.7389

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20606.93	-372.82
S&P500	2357.03	-43.64
NASDAQ	6011.23	-158.64
日経225 (CME)	19455	-400
トロント総合	15273.68	-269.65
ボルサ指数	48747.95	-711.67
ボベスパ指数	67540.25	-1144.25

5/18 経済指標スケジュール

08:50	【日本】1Q GDP
08:50	【日本】1Q GDPデフレーター
08:50	【日本】5月対内外証券投資
10:00	【ニュージーランド】5月 ANZ 消費者信頼感指数
10:00	【オーストラリア】5月消費者インフレ期待
10:30	【オーストラリア】4月失業率
10:30	【オーストラリア】4月雇用者数
14:30	【フランス】1Q ILO 失業率統計
15:30	【日本】4月首都圏新規マンション発売
16:00	【トルコ】5月消費者信頼感指数
17:30	【英国】4月小売売上高指数
21:00	【ポーランド】4月雇用
21:00	【ポーランド】4月平均総賃金
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
21:30	【米国】5月フィラデルフィア連銀景況指数
21:30	【カナダ】3月国際証券取扱高
23:00	【米国】4月景気先行指標総合指数
03:00	【メキシコ】政策金利発表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1258.70	+22.30
NY 原油	49.07	+0.41
CME コーン	371.50	+3.75
CBOT 大豆	975.75	-0.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.242%	1.299%
3年債	1.414%	1.489%
5年債	1.749%	1.847%
7年債	2.022%	2.126%
10年債	2.221%	2.324%
30年債	2.906%	2.990%

ドイツ10年債	0.378%	0.435%
英国10年債	1.068%	1.131%

5/18 主要会議・講演・その他予定

- ・米10年債TIPS債入札
- ・クリーブランド連銀総裁 講演

NY 市場レポート

20 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

米 MBA 住宅ローン申請指数 (前週比) -4.1% (前回 2.4%)

指標結果データ

◀MBA 住宅ローン申請指数▶

5/12・5/5・4/28・4/21・4/14・前年同期
 申請指数・・・-4.1・2.4・-0.1・2.7・-1.8・-17.9
 購入・・・-2.7・1.7・4.2・-1.0・-3.4・8.7
 借換え・・・-5.7・-3.3・-4.7・7.2・0.2・-36.5
 固定金利・・・-3.9・-2.6・0.3・2.3・-1.7・-20.1
 変動金利・・・-5.8・0.4・-3.9・6.9・-3.4・21.1

固定金利 30 年・・・4.23・4.23・4.23・4.20・4.22

固定金利 15 年・・・3.51・3.50・3.51・3.46・3.50

20 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

3 月南ア実質小売売上高 (前月比) 0.3% (予想 -0.5%・前回 0.9%)
 前回発表の 0.8%から 0.9%に修正

3 月南ア実質小売売上高 (前年比) 0.8% (予想 -1.0%・前回 -1.6%)
 前回発表の-1.7%から-1.6%に修正



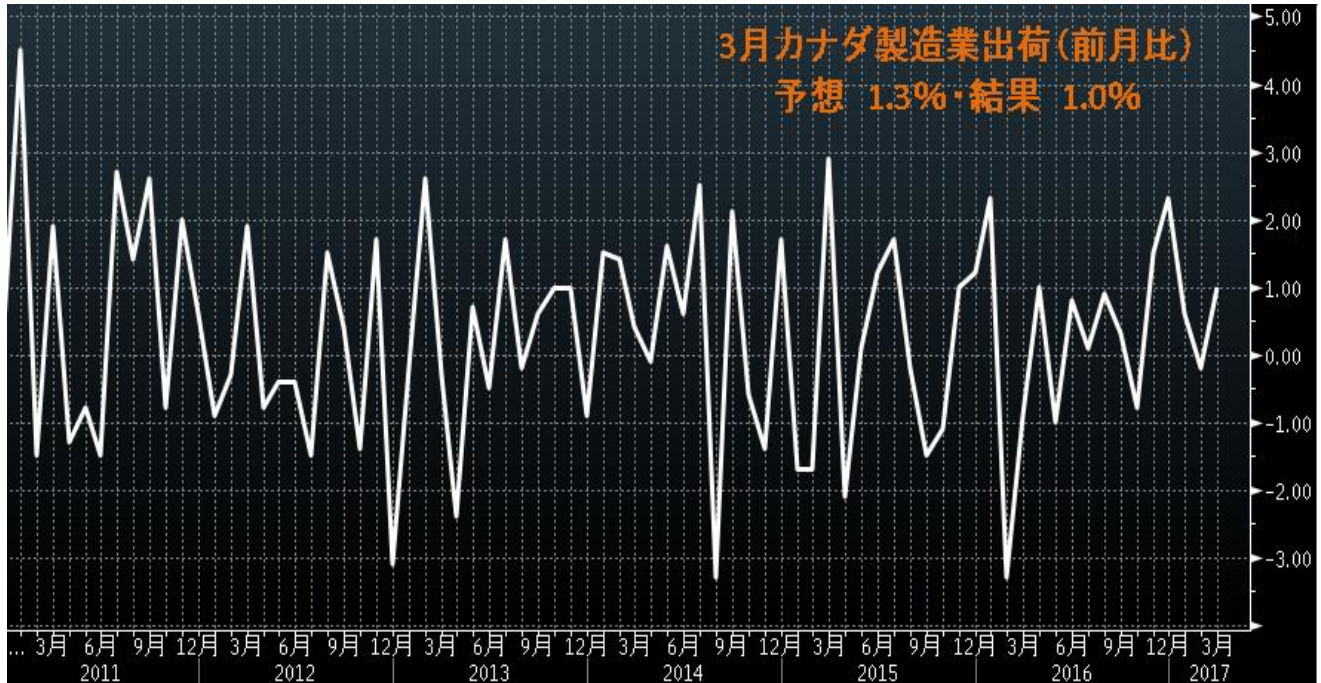
出所 : Bloomberg

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

3月カナダ製造業出荷（前月比） 1.0%（予想 1.3%・前回 -0.6%）

前回発表の-0.2%から-0.6%に修正



出所 : Bloomberg

22 : 05

グリーン米下院議員がトランプ大統領の弾劾を呼びかけたことが報道された。



出所 : SBILM

23 : 15

◀ 要人発言 ▶

ライアン米下院議長

- ・「コミー氏の報道は、注意深く精査する必要がある」
- ・「議会は騒動に関係なく政策課題への取り組みを継続する」
- ・「大統領を信頼している」

23 : 30

◀EIA 米週間在庫統計▶

原油在庫・・・175 万バレル減少
ガソリン在庫・・・41.3 万バレル減少
留出油在庫・・・194 万バレル減少

◀欧州のポイント▶

①ポーランド中銀は、政策金利を市場の予想通り過去最低の 1.50%に据え置いた。また、債券担保貸付金利が 2.50%、預金金利が 0.50%、再割引金利が 1.75%にそれぞれ据え置かれた。ポーランド中銀は 2015 年 3 月に緩和サイクルを終了している。

②スペイン中銀は、3 月の同国公的債務が 111 億 6000 万ユーロ（123 億 7000 万ドル）増加して 1 兆 1300 億ユーロになったと明らかにした。3 月時点の債務は対 GDP 比で 101.39%と、前月の 100.38%から膨らんだ。

◀欧州株式市場▶

欧州株式市場は、米大統領の政権運営への不安から米国株が一時急落したことが嫌気され、主要株価は売りが広がった。独 DAX 指数はほぼ全面安で引けた。



出所：Bloomberg

3 : 05

◀ 要人発言 ▶

カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁

- ・「利上げはバブル対応の最後の手段」
- ・「資産バブル形成を指摘するのは極めて困難」

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 22.30 ドル高の 1 オンス=1258.70 ドルで取引を終了した。

NY 金は、トランプ米大統領の政権運営に対する不安から投資家のリスク回避志向が強まり、比較的安全な資産とされる金の逃避買いが加速した。また、ドルが主要通貨に対して下落したためドルの代替資産としての需要も高まった。終値ベースでは、4月下旬以来、約3週間ぶりの高値水準となった。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.41 ドル高の 1 バレル=49.07 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、米石油在庫統計で、原油やガソリンの在庫が減少したことから供給過剰懸念が後退し、買いが優勢となった。また、OPEC と非加盟国による減産延長への期待も引き続き材料視された。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、トランプ大統領が FBI のコミー前長官に、辞任したフリン前大統領補佐官に対する捜査を中止するよう要請していたと報じられたことや、米下院議員がトランプ大統領の弾劾を呼びかけるとしたことが報道されたことから、政権運営への不安が一段と広がり、主要株価は売りが優勢となった。米ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きが続き、前日比 350 ドル以上の下落となった。また、ナスダックは 2.5%以上の大幅下落となった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、トランプ米大統領の政権運営に対する不安感の高まりを背景に、投資家のリスク回避志向が強まり、比較的安全な資産とされる円を買う動きが優勢となった。また、欧米の株価が大きく下落したことや、米国債利回りの低下も影響した。特に、ドル/円は一時 110 円台まで下落し、4 月 25 日以来の安値を付けた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。